

「庄内川の川面に存在する杭柱」の謎

松川橋から下流 100m 辺りに、木の杭 5 本が等間隔に川面から顔を出しているのをご存じでしょうか。

太陽の光が庄内川の水面を眩しく照らしていた平成 8 年の元日の昼すぎ、暖かさに誘われて庄内川の川辺を散策していると、川の流れに今にも消されそうな杭が水面から顔を出していました。

近づいてよく見ると、等間隔に並んだ 5 本の太い杭は、人工的に造られた物のようでした。

その杭は腐りかけてはいましたが、以外にも川の流れに逆らい微動ともせず、昔からここに永久に存在しているかの様でした。これは何だろうと思いをめぐらしてみると、子どもの頃の微かな記憶が蘇りました。

現在、庄内川の向こう岸は名古屋市守山区ですが、その当時は守山市(昭和 38 年 2 月名古屋市に編入)で「川村」と呼んでいました。

松河戸の子どもにとって川の向こう岸は別世界で、高学年のリーダー(悪ガキ)に連れられ、残留組に見送られながら意気揚々と冒険に出かけた事を思い出しました。(昭和 34~36 年頃)

冒険・探検は子どもにとって、とてもスリルのある遊びで、その時に向こう岸の「川村」へ渡った木の橋の残骸ではないだろうか。

いろいろ調べてみたら、やはり木橋の「松河戸橋」を取り壊した跡、庄内川に残った橋の杭柱(橋脚)であることが分かりました。その当時の木造土橋(松河戸橋)について紹介します。

それまでは川原に降りて、人ひとりが渡れる小さな橋でしたが、昭和 13 年に直径 30 センチほどの丸太を橋桁に使い、松河戸の堤防と川村の堤防を繋ぐ長さ 290m、幅 4.4m の本格的木造土橋(松河戸橋)が完成し、自動車も通れるようになりました。

その時の人々の喜びは今も語り草になっています。

昭和 23 年に名鉄バス春日井線が開設され、守山から松河戸を経由(松河戸橋)して、上条、鳥居松を結ぶ路線ができました。

しかし、この橋は、昭和 32 年(1957)8 月の集中豪雨で大破してしまいました。

補修しながら利用していましたが、強度の関係でバスや大型トラックは通れなくなり、名鉄バス路線は勝川橋から松河戸を経由する路線へと変更されました。



松河戸側から見た木橋の杭柱(令和 8 年 1 月元日)



一本は水面の下に隠れている

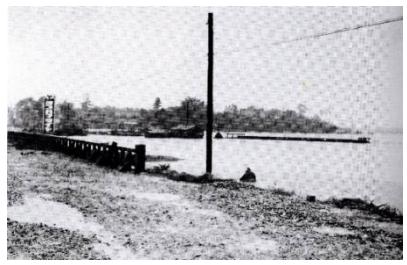


守山側から見た木橋の杭柱(令和 8 年 1 月元日)



昭和 13 年開通した松河戸橋
その時の人々の喜びは今も語り草になっています。
(松河戸側から)

松河戸誌研究会



松河戸橋は、昭和 32 年の集中豪雨で大破(松河戸誌研究会)(松河戸側から)

そこで恒久的な橋の計画が持ち上がり、昭和36年に、この上流139mのところに現在の長さ297m、幅7mの鉄筋コンクリート製の松川橋が完成しました。

これが、現在の「松川橋」です。

建設当時は歩道がありませんでしたが、昭和47年に下流側に、そして昭和51年に上流側に歩道ができました。

この「松川橋」が架かっている関田名古屋線は、春日井市中心部と名古屋市街地東部を結ぶ幹線道路となっており、平成6年(1994)主要地方道に指定され県道30号線になりました。

現在の「松川橋」の歩道から川下を見ると、川面に5本の杭柱が立っているのが見えて、その当時の郷愁を誘います。



(令和8年1月元日)
現在の松川橋の歩道から見える
旧橋の杭柱(橋脚)



旧木造橋から建設中の現在の橋を見る(写真は昭和35年)

昭和13年に架けられた自動車も通れる立派な木造橋であったが、昭和32年の集中豪雨で大破した。
向こうに見えるのは現在の松川橋を建設中である。
旧橋の上流139メートルに掛けられた。

鉄筋コンクリート橋(今の橋)についての思い出(昭和40年頃)

小野小学校の遠足で守山の緑地公園へ行くことはあまり無かったのですが、橋(松川橋)が完成してからはよく行くようになりました。今は、両側に歩道が設けて安全ですが、その頃はありませんでした。

橋を渡るとき「車が来ませんように」と願うのですが、そうは行きません。トラックなどが来ると皆(先生も)橋の手すりにしがみつき車が過ぎるのを待ちました。今でもその時のトラックの振動が忘れられません。

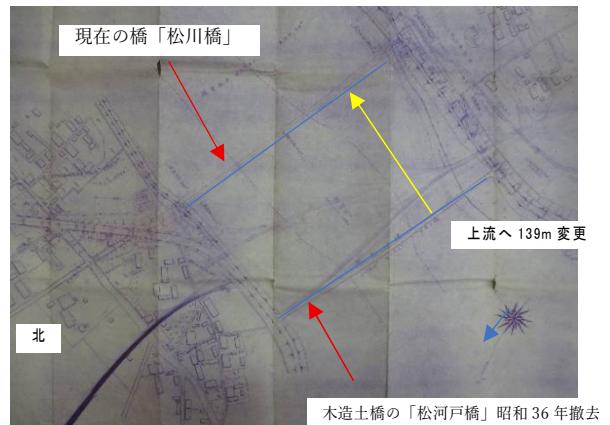
しばらく経ってから、下流側に歩道ができました。



現在の松川橋(松河戸側から)
両側に歩道が設置されている。(写真は令和2年)



昭和32年(1954)8月7日夜から8日にかけて、名古屋市・岐阜県多治見市を結ぶ地域に豪雨があった。当時の「春日井広報」では「30年ぶりといわれるほどの稀有の豪雨」と記載している。



現在の鉄筋コンクリート製の橋設置場所の見取図(松河戸区所蔵)



松川橋の建設(写真は昭和35年)
昭和36年に完成した現在の鉄筋コンクリート製の橋(松川橋)を架ける工事中(松河戸側から)



完成した松川橋(写真は昭和36年)
完成祝賀の渡り初めが行われ、関係者や大勢の子どもたちが橋を渡っている。(松河戸側から)

松河戸文化科学探求隊 隊長 長谷川浩